

ラビット通信



2011年(平成23年)

10月5日(月)

第51号

発行 医療法人社団立靖会 ラビット歯科

〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-16-1 RG 八柱ビル 3階

TEL (047) 392-0972 FAX (047) 392-0973

<http://www.rabbit-dc.net/> 介護事業所番号: 1232434777

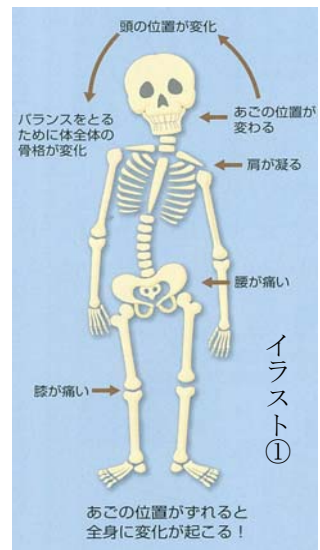
「入れ歯は嫌だ!」「歯茎で食べられ
ているから入れ歯はいらない。」など
様々な理由で入れ歯を使わない方が
いらつしやいます。ですが今回の通信
を見たら気が変わってもらえるかも
しれません!

多くの方は入れ歯は食べる為の道具
として考えている方が多いようです。
もちろん食べる為には必要な道具で
すが、実はそれだけではありません。
歯は姿勢やバランスに大きな役割がある

歯の役割は物を噛み切ったり、かみ砕
いたりするだけではないのです。
大きく口を開けてみてください。そこ
からだんだんと閉じてくると、上の歯
と下の歯が接触して止まる場所があ
ります。もちろんこれ以上噛みこむこ
とはできません。普段何気なく過ごし
ている時は、上下の歯の接触からわず
か2〜3ミリ歯を離れた状態で顎の
位置が保たれています。しかし、歯が
少しずつ磨り減ってきたり、無くなっ
てくることにより変化するのです。

イラスト①をご覧ください。歯を無く
してしまうと、上下の歯が止まるとこ
ろが無くなり、顎の位置が大きく変化
してしまいます。身体の中でもいちば
ん上にある頭の位置が狂うと身体全
体に影響を与えます。顎の位置変化↓
頭の位置↓全身への影響となつてし
まうのです。

これが身体のバランスを崩しフラフラ
歩きや、**転倒**の原因になるのです。



昔は背中の曲がったおじいさん、おばあさ
んが多かったの
ですが、高齢者
の数は増えてい
るのに最近はお
まり見かけなく
なりました。

これは多くの方
が、入れ歯を装
着することがで
きていない事が考
えます。

入れ歯で若返り



『10歳若返る「入れ歯」の話より抜粋』

歯がそろっている時 歯がない時
すり減る、無くなる、噛めなくなると姿勢が悪くなる

歯を無くされてしまった方の共通する
お顔の特徴を作るメカニズムは、上下の
あごの位置が変化してしまい、顔の高さ
が短くなり、下顎が前の方へと出てしま
います。歯が無くなってしまつたとその周
囲の骨や粘膜も減つてしまうため、口の
中の組織が失われへこんでしまいます。
こうなると『魔法使いのおばあさん』

のようなお顔になってしまつてしまうわけです。
写真をご覧ください。入れ歯を入れる前と、
入れた後では一目瞭然です。



装着前



装着後



歯は生活するなかでとても重要な役割を果
たしています。入れ歯に慣れ、使いこなす
のは簡単な事ではありませんが、大きなメ
リットもあります。ぜひ歯科医師にご相談
してみてください。

